

# なるおきた

西宮市立鳴尾北小学校  
西宮市学文殿町2丁目2番7号  
TEL:(0798)47-1051 FAX:47-9507  
<https://www.fureai-cloud.jp/naruokie>



学校教育目標 知徳を磨き 健やかな子の育成

## 西宮市立小学校連合体育大会（小連体）

11月8日(水)に阪神甲子園球場で小連体が開催されました。第1回大会は昭和32(1957)年に開催され、今年が第62回大会となります。西宮市立小学校、義務教育学校の6年生4429名が、東西南北の4ブロックに分かれ、団体徒手体操を披露しました。

どのブロックも素晴らしい演技でした。一人一人が自立して、自分の良さを発揮するとともに、互いの良さを認め合い、共に高め合うことを通して、よりよい演技が生まれます。市内の6年生が小連体のよき伝統を受け継ぎ、最高の演技を披露できたことをたいへん嬉しく思いました。

小連体に参加した子供たちが、未来のどこかで甲子園球場の話題や映像に触れる時、小連体の思い出が心に浮かんでくると思います。自分の演技に一生懸命取り組んだこと。一緒に演技をつくりあげた友達のこと。温かく支えてくださった先生方。足もとから伝わってくる芝生や黒土の温もり。観客席からの盛大な拍手。グラウンドから見上げた青い空。一つ一つの思い出が、未来の自分に勇気や元気、希望を与えてくれます。

みんなで小連体をつくりあげる経験を通して、初めて気づいたこと、あらためてわかり直したことなど、さまざまな学びがあったと思います。学ぶということの意味は、さまざまな人やもの、出来事と豊かに関わり、本当によいことは何か、大切なことは何かを問い続けることを通して見えてくるものです。

ふるさと西宮で学んだこと、「宮っ子」であることに自信と誇りを持ち、今後もさまざまな出会いやチャレンジを通して、よりよい未来を切り開いていくことを心から願っています。

(校長 河合 純孝)



【6年生児童が綴った「振り返り」より一部を抜粋して紹介いたします】

- 最後のやぐらウォールの時には、もうこのメンバーでこの演技をすることは無いと思うと、さびしい気持ちでいっぱいになりました。演技が終わった後は、達成感とまだおどりたいという気持ちがごちゃごちゃになって、複雑な気持ちになりました。でもやっぱり甲子園球場の土を裸足で踏めたことはとてもうれしかったです。これは西宮市民が誇りを持って言えることだなと思いました。これから大人になって西宮以外の所に出たとしても、今日のことは忘れずに一生の思い出として心に残しておきたいです。
- 開会式、演技と続いてリレーが終わった後、トイレに行くときと並んでいて、知らない人の後ろに並びました。すると、前の人がいきなり、「鳴尾北の人でしょ。さっきのリレーおしかったね」と言われました。とてもおどろきました。本当に知らない人だったのでびっくりしたけど、「ありがとう」と言いました。その人は小松の人でした。知らない人でも小さなことで笑い合えることを学びました。演技も思い出だけど、このことも思い出です。